

## 「樹齢400年ともいわれる橋場町のコウヤマキ」 現地で「意見交換会」を行います

～ 国道159号 橋場自歩道整備事業 ～

- ・ 国道159号橋場町地区では、安全・安心な歩行空間の確保と周辺環境と調和した景観整備を目的に歩道整備と電線類の地中化を進めています。
- ・ 当該箇所には、樹齢400年ともいわれるコウヤマキが地域のシンボルツリーとして親しまれています。
- ・ 今回、実施する意見交換会は、このコウヤマキを今後とも地域のシンボルツリーとして親しまれるよう、地域住民の方々と一緒に周辺整備の方法について意見交換を行うものです。

### ○ 意見交換会について

日時：平成24年9月20日（木） 午前10時00分～

場所：国道159号 金沢市橋場町地先コウヤマキ前集合（下図参照）

内容：コウヤマキ周辺整備に関する意見交換

参加者：地域住民の方々

国土交通省金沢河川国道事務所、金沢市役所緑と花の課



～地域の皆様と一緒に、  
満足のいく道づくりを目指します～

本プロジェクトは、地域の皆様とコミュニケーションを図りつつ、皆様と一緒に、満足のいく道づくりを目指すものです。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

建設専門官 渡部 秀樹

T e l : 076-264-9920 F a x : 076-233-9617

## 橋場町のコウヤマキについて

金沢市橋場町のコウヤマキは、樹齢400年以上とも言われ、金沢市内でも最大級の巨樹です。記録によると、このコウヤマキは藩政時代、加賀藩の武家の広大な屋敷林として植えられていたとされ、大正から昭和にかけて、相続や売買で土地の所有者が替わるなか、「由緒あるコウヤマキ」として保存されてきました。

その後、昭和60年には、コウヤマキを含めた屋敷林を「金沢市保存樹林」に指定しますが、周辺開発のため保存樹林を解除、平成13年にコウヤマキのみを「保存樹」に指定しました。

現在、道路整備に伴い、保存樹指定は解除されましたが、自歩道整備や無電柱化整備による景観整備とあわせて、「由緒あるコウヤマキ」を当地域のシンボルツリーとして整備計画に取り込み、大切に保存していくことにしています。

### ●保存樹制度●

都市計画区域内において、緑のシンボルとなっている貴重な大木、古木を保存樹として指定することにより、所有者と行政が一体となって良好な管理・保存を図り、緑豊かな都市環境の確保、美観・風致の維持する金沢市の制度。

## 現況と整備後のイメージ

現在



整備後イメージ



### コウヤマキ（高野槇、高野槇）

マツ目コウヤマキ科の日本固有種。常緑針葉樹で高木となる。山地に自生。葉は束生し、厚く長い針状で両面に浅い溝がある。雌雄同株。3月ごろ、枝の先に黄褐色で群生する雄花と、単生する雌花がつく。材は建築や家具に用いる。庭園にも植えられるが、高野山に多く産するのでこの名がある。〈大辞泉より〉

※橋場町の『コウヤマキ』に関する詳細については、金沢市役所「緑と花の課」までお問い合わせ下さい。T e l : 076-220-2356 F a x : 076-224-5046